



誕生日の2か月後の同日の前日から接種できます。
例えば 11/11 生→1/10 から接種可能です。
また、2か月後に同日がない場合は、2か月後の月の最後の日から接種できます。例えば 12/30 生→2/28 から接種可能です。不明な場合はお問合せください。

5種混合（ジフテリア・百日せき・破傷風・ポリオ・ヒブ）予防接種のお知らせ

〔 I 期初回 〕

本通知は、生後2か月になるお子さま全員に送付しています。
同封の「てびき」等をお読みいただき、医療機関で予約をしてから予防接種を受けてください。

1. 同封書類 … 予防接種のてびき(実施医療機関一覧)、
予診票【5種混合ワクチン初回（1回目・2回目・3回目）】
2. 接種対象者 … 生後2か月～生後90か月未満
 接種日に鹿沼市民であること（転出した場合は転出先の市町村にお問合せください）
3. 持参するもの 予診票（紛失・破損した場合は、委託医療機関にあるものをお使いください）
 母子手帳
4. 接種料金 … 無料
5. その他 … ① 鹿沼市委託医療機関以外で予防接種をご希望の場合は、栃木県内相互乗り入れ事業や予防接種費用助成制度があります。

栃木県内相互乗り入れ事業

栃木県内の医療機関で接種する場合、栃木県内相互乗り入れ事業の協力医療機関であれば、無料で接種できます。協力医療機関については栃木県医師会のホームページで「定期予防接種の相互乗り入れ」の「接種協力医療機関名簿」をご覧ください。

予防接種費用助成制度

- 栃木県内相互乗り入れ事業の協力医療機関以外や、県外で接種する場合は事前の申請が必要になります。健康課までお問合せ下さい。
- ② 重症の病気などのため接種対象者年齢での接種が困難な場合は、健康課にご相談ください。
 - ③ 転入前に接種が済んでいる、または委託医療機関以外で接種が済んでいる場合は、接種経過を健康課までお知らせください。
 - ④ 事情により保護者以外が同伴される場合には、下記の「予防接種委任状」を記入し、接種時に医療機関へご持参ください。

鹿沼市保健福祉部健康課健康増進係 ☎ 63-8311

予防接種委任状

鹿沼市長宛

委任者 氏名（自署） _____ 印

（保護者）

住所 _____

緊急連絡先 _____

私は、子どもが本日の予防接種を受けるに当たり、事情により同伴できないため、代理人へ予防接種に関する一切の権限を委任いたします。

また、医師の診察後に同伴者の接種同意を持って、保護者の同意といたします。

令和 年 月 日

予防接種名 _____

被接種者氏名 _____

代理人 氏名（自署） _____ （被接種者との続柄） _____

住所 _____

*委任状が足りない場合は、鹿沼市のホームページからダウンロードするか、健康課にご連絡ください。

5種混合(ジフテリア・百日せき・破傷風・ポリオ・ヒブ)予防接種について

予防接種を受ける前によく読んでおきましょう。

ジフテリアとは

ジフテリア菌の飛沫感染で起こります。予防接種によって、現在では患者発生数は年間0～1人です。感染しても症状が出ないこともあります。症状は、高熱・犬吠様の咳などです。菌の毒素により、心筋障害や神経麻痺が起こることがあります。

百日せきとは

百日せき菌の飛沫感染で起こります。患者数は減少してきていますが、乳幼児では重症化する例があるので注意しましょう。普通のかぜ様症状から始まり、続いて咳がひどくなり顔を真っ赤にして咳き込むようになります。乳幼児では、呼吸困難やけいれんが起きたり、肺炎や脳症などの合併症を起こすことがあります。

破傷風とは

土の中にいる破傷風菌が傷からヒトの体内に入ることによって起こります。菌の出す毒素で、最初は口が開かなくなったり、筋肉のけいれんが起こります。治療が遅れると死に至ることもある病気です。

急性灰白髄炎(ポリオ)とは

ポリオはウイルスにより手足にまひを起こす病気です。ポリオウイルスは口から入り、のどや小腸の細胞で増殖します。増殖したウイルスは便中に排泄され、免疫を持っていない人の口から入るといったように、ヒトからヒトへ感染します。ほとんどの場合症状は出ませんが、症状が出ると、血液を介して脳や脊髄に広がってまひが出る場合があります。

ヒブ(Hib)とは

「ヒブ」とは「インフルエンザ菌b型」の略で、乳幼児の細菌性髄膜炎を起こす細菌の原因の半分以上を占めています。ヒブによる髄膜炎は、5歳未満の乳幼児がかかりやすく、特に生後3か月から2歳になるまではかかりやすいので注意が必要です。年間約400人が発症し、約11%が予後不良と推定されています。ヒブはその他にも、肺炎、敗血症、喉頭蓋炎などの重篤な全身感染症を引き起こす原因ともなっています。

☆ 接種時期・標準的な接種間隔

生後2か月～90か月(7歳6か月)未滿までに計4回接種します。

第1期 初回接種

20日以上の間隔をおいて3回接種

(標準的には生後2か月から7か月未滿の間に、20日(3週間)～56日(8週間)の間隔をおいて3回接種)

第1期 追加接種

初回終了後、6か月以上おいて1回接種

(標準的には初回接種終了後から6月から18月の間隔をおいて1回)

- ◆回数が多いので接種忘れに注意しましょう!
- ◆しっかり免疫をつけるために、決められたとおりに接種することが大切です。

万が一間隔があいてしまったら、健康課または医師に相談してください。



予防接種を受けに行く前に・・・

☆5種混合予防接種について理解していますか?

(このてびきをよく読みましょう。)

- ☆お子さまの体調・機嫌はよいですか?
- ☆体温は37.5℃未滿ですか?
- ☆前回の予防接種との間隔は十分ですか?
- ☆予診票の記入は済んでいますか?
- ☆母子健康手帳は持ちましたか?

☆ 接種後の副反応

主な副反応は、接種部位の発赤(紅斑)、はれ(腫脹)、しこり(硬結)などの局所的な反応や、全身反応として、発熱、不機嫌(気分変化)などがみられることもあります。いずれも一過性で、2～3日後をピークに消失します。まれに、ショック、アナフィラキシー(じんましん・呼吸困難・血管性浮腫など)、けいれん、血小板減少性紫斑病、脳症など重大な副反応が見られることがあります。

お問合せ

鹿沼市 保健福祉部 健康課 健康増進係

☎63-8311

